

東日本大震災ルーテル教会救援

Japan Lutheran Emergency Relief 【JLER】



ルーテル教会救援 現地活動 月次報告 No.27

2014年1月度 活動報告 (2014年2月20日発行)

東日本大震災で被災された皆さまに心よりお見舞い申し上げます。
またルーテル教会救援の活動にご理解・ご協力いただいている
皆さまに心より感謝いたします。

新しい年が始まり、JLERの活動も残りわずかとなりました。教会の方・被災地の
方、皆様に支えられて続けていくことができました。最後まで見守りください。

家を建て直し、仮設住宅を離れた方が自宅に咲いた蠟梅(写真)を持ってきてく
れました。再建を喜ぶ横で、まだ仮設住宅にお住まいの方は微笑みながらも少し
悲しそうでした。早く春が来ますように。1月の活動を報告いたします。



【防災・減災教育】スタディツアーが終了しました

2013年7月からほぼ毎月開催してきた定例スタ
ディツアーが、今月で最終回となりました。

▶ 第6回 南相馬・仙台・名取・石巻編

1日目は南相馬に向かい、六角支援隊の拠点であ
るホテル六角で、代表の大留さんより、震災当日の話
やその後の支援隊の取組み、また南相馬の現状など
について話をいただきました。

大留さんによれば、南相馬で
は3~4か所に家族がバラバラ
になって暮らしているケースも
多く、ここに残っているお年寄
りのケアをどうしていくかが目下の
課題だそうです。

お話を聞かせて頂いた後、
2012年4月に警戒区域が解除
された小高地区を中心に案内し
ていただきましたが、だいぶ片づ
けが進んだとは言え、まだまだ
津波で壊れたままの家や岸壁が
そのまま残っており、田んぼなど
にも車などが残っていました。



小高地区は、日中は入れるも
のの住むことは許されていない地域なので、中心街
だったところには、倒壊した建物は片づけられたもの
の、ほとんど人影がありませんでした。

2日目は、仙台教会の礼拝に出席した後、仙台市
若林区や名取市を見学しました。今回、案内してくれ
たのは、仙台市若林区で被災し、みなし仮設に住ん
でいらっしゃる方です。

車に同乗していただき、津波で流されたその方の
家のあった場所や2階部分が流れ着いていた場所、



震災当日の
避難した時
の様子など
をお話しし
てもらいま
した。

それから名取市の関上中学校と、その入り口にあ

る「閑上の記憶」を訪問しました。閑上の記憶では、こ
の場所ができるまでの経過などを紹介したビデオを
見て、その後、スタッフの方から津波が来たときの映
像などを見せてもらいながら、そのとき何があったの
かをお話し頂きました。その後、閑上地区にある日和
山にのぼりましたが、数か月前に来たときと変わらない
風景でした。

地元の方と一緒にまわったことでスタッフも初めて
知ることも多く、参加された方も多々得るものがあ
ったようでした。

最終日は、凍えるような寒さの中、東松島から石巻
の被災地を巡りました。

仮設河北三反走団地集会所では、大川小学校近
くで被災された方からお話を伺い、仮設追波川河川
団地では、布草履を製作されている方
にお会いし、お茶っこサロンのチラシ
を配りました。



そして、スタディツアーの最後は震
災当日と同じく、雪が降りしきる大川
小学校を訪問し犠牲者の方を覚えて、
スタディツアーを終えました。

▶ スタッフ佐藤よりメッセージ

となりびとでは、2013年3月からスタディツアー
を開催してきました。ルーテル教会関連の高校・大
学をはじめ、教会の方を対象としたスタディツアー
を合計10回開催し、100名近い参加者がありました。

このツアーは、ボランティア作業はできないけど被災
地を訪問したいという教会の方々や被災地の人の
「見るだけでいいから来てほしい」という希望を結び
つけるための取組でした。既に報道されている通り、
大規模な災害が今後も各地で想定されています。被災
地で見聞きしたことや「もう誰も同じ思いをしてほ
しくない」という被災者の気持ちを地元を持ち帰り、
次に備える。そのような機会になればと思い、開催し
ました。3月で活動を終了しますが、他の団体や地元
の旅行業者などもこうしたツアーをしているので、今
後もぜひ被災地に足を運んでみてください。